

通学路の安全確保について



阿南 澄男

問 池新田地区内の主要な通学路の改良について、第一小学校PTA会員451名の署名捺印された要望書及び地区防災・減災対策委員会が平成26年12月にPAZ対応緊急車両の通行困難などを勘案し、防災・減災対策事業の要望書を提出した。これらの要望書への対応に疑義が生じているが、どのように考えているか

答 26年度池新田地区PTA地区長の皆様方からの要望書につきましては、池新田地区防災・減災対策委員会及び教育委員会経由で、担当部署に提出されています。今回の要望書の路線には第一小学校の児童約150人が利用している

ます。道路幅は狭いが、過去に危険だという報告はありません。また、狭いがゆえに一般の通り抜け車両の進入なども少ないと聞いています。しかし、保護者の気持ちを重く受け止め、本年度、要望路線の合同点検を関係者で行い、そこで出た意見をもとに、通学路の看板設置や横断歩道及び停止線の塗り替え、破損している側溝の取り替えなどの安全対策の実施を予定しています。



新しく設置された看板

安保関連法案について 住宅改修問題について 原発問題について



清水 澄夫

問 国会では憲法9条を脅かす安保関連法案が審議されている。この法案に元裁判官や憲法学者の大半が反対している。法案が通れば憲法9条は壊れることになるが、平和な社会を存続するために、市長、教育長の考えは

答 【市長】「御前崎市平和を後世に引き継ぎ、世界平和のために不断の努力を傾けることには変わりはありません。」

答 【教育長】教育の場で平和を愛し、郷土を愛し、人を愛せる子供たちを育てていくことに引き続き全力で取り組んでまいります。

度です。今後の対応は、国・県・近隣市町の動向を注視してまいりたいと考えます。

問 薄原住宅の内装が悪く、壁や天井が黒く変色しカビが生えている。これでは病気に直結する。入居者は市に改善を求めているが、調査をしたか

答 薄原住宅は建築後30年以上経過し、修繕箇所も多くなっています。状況に合わせて対策方法を検討してまいります。

問 安定ヨウ素剤の配布準備はその後どこまで進んでいるか。また、医師不足解消のためどんな努力をしたか

答 事前配布に向けて、県と打ち合わせ中です。医師確保については、県で県医師会などの関係団体と調整を進めています。

地区住民生活等緊急支援事業について 子育て支援事業について



後藤 憲志

問 世代間同居促進住宅取得事業の現状は

答 現在、定住促進を目的とする3事業を実施しており、8月末までの約4年半で324世帯、6千万円余を交付しました。市外からの転入者は60世帯207人で、全体の2割弱です。今後市外からの移住定住を促進する手段として、補助制度の一層の活用を考えていきます。

問 4月から8月の中型カワサキ船水揚実績は256トンです。黒潮の蛇行の影響により、4月の水揚量が前年比53%減少しました。今後は国の総合戦略予算を注視し、県外船主などへの事業周知や誘致活動をし、入港促進に努めたいと考えます。

問 体操服等購入助成事業及び出産奨励金支給事業の現状と課題は

答 体操服等購入の助成率は、8月末までに対象者数849人のうち9割に交付しています。出産奨励金は、8月までに第2子23人、第3子以降6人に支給しています。今後は、両事業の成果・課題・効果を検証し、より良い事業としていきたいと考えます。

問 カワサキ船水揚促進支援事業の現状は

答 9月4日現在、商品券の回収率は65%程度です。



議員視察研修

原子力対策特別委員会

平成27年7月1日～3日

視察先及び視察内容

- 福井県若狭湾エネルギー研究センター（福井県敦賀市）
産業界・大学・官公庁などの機関と連携した原子力関連技術の開発について説明を受け、放射線医療機器を視察しました。
- （独法）日本原子力研究開発機構
原子炉廃止措置研究開発センター（略称・ふげん）
（福井県敦賀市）
廃炉措置の現状を視察し、廃棄物の処理方法などの説明を受けました。



若狭湾エネルギー研究センター



原子炉廃止措置研究開発センター



中部電力榑上越火力発電所

文教厚生委員会

平成27年7月7日・13日

視察先及び視察内容

- 文教厚生委員会の所管に属する教育施設のうち、小学校4校、中学校2校を訪問し、授業参観及び校長らと意見交換を行いました。また、児童生徒らと給食をともにし、配膳の様子や給食時の様子を視察しました。



第一小 きれいに整頓された児童の靴



浜岡東小 授業風景



御前崎小 給食時の様子



浜岡中 廊下から授業を見学



白羽小 校長らとの意見交換



御前崎中 授業風景